

1 - 1 浦河沖の地震活動 (1926年1月～1996年10月)

Seismic activity off Urakawa (January, 1926 - October, 1996)

札幌管区気象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

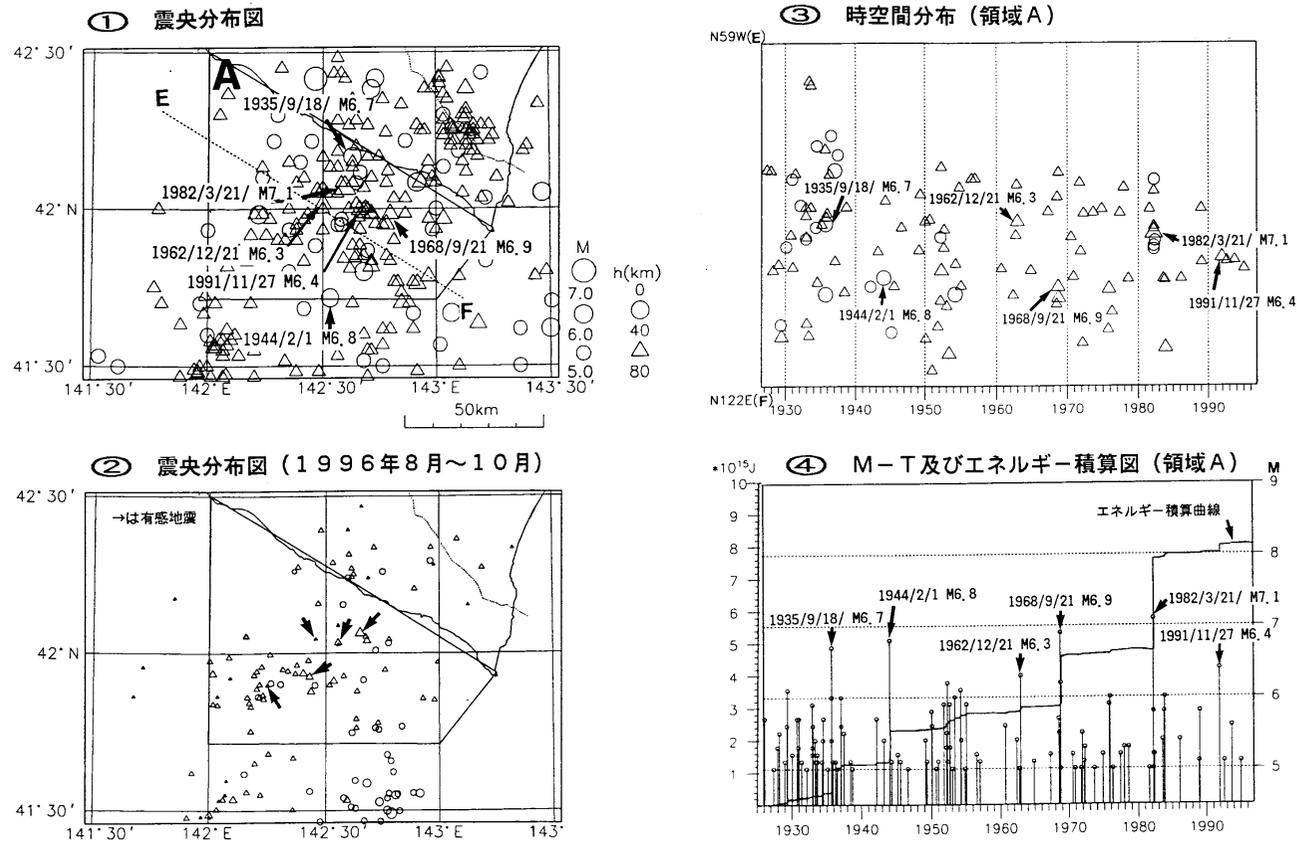
1996年10月に浦河沖を震源とする有感地震が5回発生した。地震は最大でM4.2といずれも規模の小さいものであった(第1図の)。浦河沖は、過去にM6～7クラスの地震が繰り返し発生するなど、北海道付近では最も地震活動が活発な地域である(第1図の ,)。札幌管区気象台(1992年)は、1982年浦河沖地震(M7.1)が発生する前には地震活動の静穏化が見られたことに着目して、浦河沖で発生した地震のエネルギー-放出積算曲線から、地震活動の推移に注目すべきことを報告したが、その直後の1991年11月27日にM6.4の地震が発生した。

最近の活動状況を見ると1982年3月の浦河沖地震以後M7クラスの地震がなく、M6以上は1991年11月27日のM6.4以来、M5以上も1995年1月11日のM5.1以来発生していないなど、比較的静穏である。また、M5以上の地震のマグニチュードから求めたエネルギー-積算図で見ると、現在は積算曲線の傾きが緩やかな時期にあり、1968年9月のM7.5、1982年3月のM7.1の地震の発生前の状況に類似しているように見えることから、今後の地震活動に注目したい(第1図の)。

参 考 文 献

- 1) 札幌管区気象台：浦河沖の地震活動(1961年1月～1991年10月)、連絡会報,47(1992),8-11.
- 2) 札幌管区気象台：浦河沖の地震活動(1961年1月～1992年4月)、連絡会報,48(1992),7-10.

浦河沖の地震活動 (1926年1月~1996年10月 $M \geq 5.0$ $h \leq 80$ km)



第1図 浦河沖の地震活動 (1926年1月~1996年10月 $M \geq 5.0$ $h \leq 80$ km): 震央分布図 時空間分布図 震央分布図 (1996年8月~10月) M-T及びエネルギー積算図

Fig.1 Seismic activity off Urakawa (January, 1926 - October, 1996, $M \geq 5.0$, $h \leq 80$ km): epicentral distribution, space-time distribution, epicentral distribution (August - October, 1996), Cumulative energy-magnitude-time diagram.